

# Ⅲ 万博会場の整備・運営にあたって

## 【項目】

- ① 中小企業等の参画促進、木材の活用促進
- ② 防災対策、テロ・サイバー等防犯対策、雑踏対策などのセキュリティ対策
- ③ 感染症対策の強化
- ④ 一般交通への働きかけTDM
- ⑤ 万博開催時の物流交通対策

## ① 中小企業等の参画促進、木材の利用促進

「未来社会の実験場」の実装には、大阪・関西の優れた技術力や魅力的な製品を取り扱う中小企業、特色ある生産品を生み出す農林水産業者等の参画が不可欠。また、脱炭素社会の実現に向けた木材利用の取組は重要であることから、会場内における取組に対しても積極的に木材利用していく必要がある。

### 府・市の取組み

- ・物品、運営サービスや農林水産物等のサプライヤーリスト「万博商談もずやんモール」の運用開始
- ・大阪府・市パビリオン内における中小企業・スタートアップゾーンの設定
- ・テーマウィークとの連携など万博での展示等をする企業の技術開発等への支援

### 課題

▷中小企業等の万博への参画機会の拡大

今後、万博会場整備が本格化する中、国等による建設工事や設備工事、製品・サービスの発注に中小企業等が参画し、優れた技術力や魅力的な製品・サービスを国内外に発信する機会の拡大が重要。

▷脱炭素社会の実現に向けた木材利用の積極的な取組み

会期後のリユース・リサイクルの観点やコスト面も考慮しながら、再生可能な資材である木材を最大限に活用することが重要。

### 国との協議の進捗状況

国「アクションプランVer.5」の記載内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「ウッド・チェンジ」の発信&lt;農水省&gt;</li><li>● 万博会場を活用した未来思考の中小企業の魅力・価値の発信&lt;経産省&gt;</li></ul>
国との協議の進捗状況 (取組の成果)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 関係省庁と協議中</li></ul>

### 国への提案・要望

- ▶万博会場での国等の取組みにおける「万博商談もずやんモール」の積極的な活用、地元中小企業等の技術等の活用、参画促進
- ▶会場内の国等の取組において、再生産可能な資源である木材の積極的な利用
- ▶中小企業等の技術等の活用促進、万博参画促進への財政支援

## ② 防災対策、テロ・サイバー等防犯対策、雑踏対策などのセキュリティ対策

万博開催時に、世界各国から訪れる全ての来訪者が安心して万博を楽しむためには、様々なツールや手法による緊急時の情報発信など、大規模自然災害等への対策は不可欠。国内外の要人だけでなく、多数の来場客が来阪することが予測されており、開催期間中の警備強化は必要不可欠。また、近年、脅威が高まっているテロへの対策や、大規模なサイバーテロに備えたサイバーセキュリティ強化の取組みが重要。

### 府・市の取組み

- ・埋立地（夢洲・咲洲・舞洲）における浸水対策
- ・おおさか防災ネットの多言語対応化、及び大阪防災アプリのリリース
- ・国、関西広域連合と連携した防災・減災対策の推進
- ・大阪府・大阪市の防災計画に基づく防災・減災対策の推進

### 課題

- ▷災害弱者を生み出さないための、リアルタイムで情報伝達ができる仕組みづくりやネットワークシステム構築  
万博開催時に多くの来訪者が滞在される大阪都心では、緊急時の情報連絡を危機管理部門（又は管理者部門）とエリアマネジメント団体が連携、ピクトグラムの災害版「災害種別図記号」の普及・設置や、外国人や障がい者など災害弱者を生み出さないためのシステム・アプリ開発等が必要。
- ▷脅威が高まるテロへの対策  
テロ組織は、刃物や車両等の身近な手段によるテロ事件を称賛し、更なるテロの実行を呼び掛けている。
- ▷高度化するサイバー犯罪・サイバー攻撃への対応  
サイバー犯罪・サイバー攻撃はその手口を巧妙化させており、サイバー空間における脅威は極めて深刻な情勢。

### 国との協議の進捗状況

#### 国「アクションプランVer.5」の記載内容

- 防災DXを活用した博覧会会場での実証実験<文科省>
- 海洋関係の取組発信<内閣府>
- リモートセンシング技術による高精度データの集積・分析・配信技術の開発<総務省>
- 被災地から生まれる未来社会に向けた最新技術の情報発信<復興庁・経産省>
- 緊急事態対処における無人航空機の活用及び有人機・無人機連携技術の研究<警察庁>

#### 国との協議の進捗状況 (取組の成果)

- 万博会場内のセキュリティ先端技術の展開に向けた支援、会場内及び会場周辺の警戒警備に関する支援は協議中

### 国への提案・要望

- ▶様々な媒体を通じた情報発信により、国内外からの来阪者が安心できる環境づくりへの財政支援
- ▶国家の危機管理対策として「安全・安心な万博の実現」を位置づけ
  - ・会場内や会場外の主要駅等における万全の警備体制等の構築
  - ・会場内の自動走行ロボットによる警備等、先端技術の導入による支援
  - ・自主警備体制の働き掛け等による警備環境の整備
  - ・テロを含む治安対策に先端技術を活用する等の取組みの強化
- ▶サイバーセキュリティ戦略の取組み推進
  - ・国内でサイバーセキュリティの専門人材は質的にも量的にも圧倒的に不足していることから、人材の育成・確保に向け、継続的な人的支援
  - ・リスクマネジメントの促進や対処態勢の整備など関係組織のサイバーセキュリティ確保のための取組みへの支援

### ③ 感染症対策の強化

人類の未来への希望を示す万博として、全ての来訪者が安心して大阪・関西に集い、万博を楽しめるよう、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、新興感染症等を想定した体制の整備が不可欠。

#### 府・市の取組み

- ・保健所体制の強化
- ・検疫所との連携・強化
- ・万博開催期間における感染症強化サーベイランス

#### 課題

- ▷ 空港等での感染症水際対策の適切な運用  
新興感染症等の国内流入を防ぐため、国の玄関口である国際空港等において、水際対策の柔軟かつ適切な運用が必要。
- ▷ サーベイランス体制の強化  
新興感染症等の国内流入を早期に探知し、対策につなげることができるよう、サーベイランス体制の強化が不可欠。
- ▷ 感染の発生状況や感染者の動向の情報共有が必要  
都道府県及び保健所設置市を横断した情報共有の体制や手段が必要。
- ▷ 医療提供体制の整備  
新興感染症等が国内に流入した際に、速やかに必要な医療にアクセスできる体制づくりが必要。
- ▷ ワクチンで防げる輸入感染症のリスク低減及び安定なワクチン生産・流通体制の確保

#### 国との協議の進捗状況

国「アクションプランVer.5」の記載内容	● 記載なし
国との協議の進捗状況 (取組の成果)	● 関係省庁と協議中

#### 国への提案・要望

- ▶ 新興感染症等に対応する検疫体制の充実・強化（検疫所職員の充実等）
- ▶ 新興感染症等の国内流入に関するサーベイランス体制強化に係る都道府県等への支援・国の専門機関による人的・技術的支援や実施に係る財政支援等
- ▶ 新興感染症等の国内流入時に都道府県及び保健所設置市を横断して、感染の発生状況や感染者の動向・接点履歴などの情報共有と調整を迅速に行う国の体制作り及びICT化による効率的な情報共有体制の確立
- ▶ 新興感染症等に対応できる医療提供体制整備に係る財政支援
- ▶ 海外からの来訪者に対する来訪前の予防接種の勧奨及び国内における安定なワクチンの生産・流通体制の確保

## ④ 一般交通への働きかけTDM

大阪・関西万博への来場者は、会期中で約2,820万人が想定されており、博覧会協会において、来場者の平準化など、来場者輸送の交通マネジメントに最大限、取り組んでいる。一方で、現況の鉄道や道路では、通勤・通学時間帯などで混雑している箇所があり、万博の来場者輸送の交通マネジメントだけでなく、一般交通の抑制や平準化などを実施する必要がある。

そのため、在宅勤務や時差出勤、混雑予想箇所の迂回など、住民や企業等の交通にあたっての行動変容を促す取り組みを関係者が一体となって検討・調整し、広く協力を働きかけ、円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立をめざす。

### 府・市の取組み

- ・博覧会協会、府・市等が参画する2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会において、以下の方針を策定。
- ・大阪・関西万博 来場者輸送基本方針【2022年6月策定】
- ・大阪・関西万博 来場者輸送具体方針（アクションプラン）第3版【2023年11月改定】
- ・府市、博覧会協会、経済団体、国等が参画する2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（会長：知事、会長代行：市長）を2022年12月27日に設置。

### 課題

- ▷来場者輸送対策を実施しても発生が予想される混雑への対応  
チケットコントロールなどの来場者需要の平準化並びに運行本数の増便などの供給拡大策を実施しても発生が予想される鉄道の混雑や道路の渋滞に対して、一般交通への対策（働きかけTDM）の実施が必要。
- ▷一般交通への働きかけTDMを実施する必要性の周知  
府民・市民・企業等に対し、万博期間中に働きかけTDMを実施する必要性を周知し、理解を深めてもらう方策が必要。

### 国との協議の進捗状況

国「アクションプランVer.5」の記載内容	● 記載なし
国との協議の進捗状況（取組の成果）	● 交通円滑化推進会議を通じて、一般交通への働きかけTDMの取組方針について共有

### 国への提案・要望

- ▶府・市、博覧会協会、地元経済界等による交通円滑化の取組に対する支援
  - ・一般交通への働きかけTDMの実施（万博開催前の試行実施含む）に関して交通円滑化推進会議を通じての助言・協力及び財政支援

## ⑤ 万博開催時の物流交通対策

大阪・関西万博への来場者は、会期中で約2,820万人が想定されており、博覧会協会において、来場者の平準化など、来場者輸送の交通マネージメントに最大限、取り組んでいるが、あわせて万博工事期間中及び万博開催期間中の万博関連車両の円滑な交通を確保するため、年間約100万TEUの貨物量を取り扱う夢洲のコンテナターミナルへ出入りしているトレーラーを咲洲へシフトするなど、夢洲周辺の物流車両の渋滞緩和を図る必要がある。

### 府・市の取組み

- ・万博関連車両（工事車両含む）の円滑な交通を確保するために実施する物流車両の交通混雑緩和にかかる取組に対する支援。

### 課題

▷万博工事期間中及び万博開催期間中の各対策実施に向け、港湾関係者と協議・調整を行う必要がある

### 国との協議の進捗状況

国「アクションプランVer.5」の記載内容	● 記載なし
国との協議の進捗状況（取組の成果）	● 関係省庁と協議中

### 国への提案・要望

- ▶万博工事期間中及び万博開催期間中のターミナルゲート時間延長・咲洲へのシフト等、物流交通対策に対する支援